



自衛隊栃木地方協力本部

ヤクルト健康まつり広報展 ～真夏の足利で暑さに負けぬ広報を！～

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 後藤 2 陸尉）は 8 月 30 日（土）、足利市内に所在する両毛ヤクルト販売株式会社で行われた「第 12 回ヤクルト健康まつり」において、広報展を実施した。イベントには約 3,000 名の来場者があり、多くの家族連れで賑わっていた。

広報展は、東部方面特科連隊第 2 大隊（宇都宮）の支援を受け、31/2tトラック、1t水タンクトレーラの展示、缶バッジ釣り及び自衛隊説明コーナーなどを設け、多くの来場者を通じ、自衛隊の魅力を伝えることができた。特に展示車両の前で隊員と記念撮影をする家族が多く、小さな子供たちも笑顔で楽しそうであった。

足利地域事務所は「今後も、暑さに負けぬ熱い広報で自衛隊を PR し、自衛隊の精強さをアピールするとともに地域住民との信頼関係をより深めていく」としている。



装備品展示の様子



缶バッジ釣りの様子



概要説明&安全教育の様子



クラニアルを装着する参加者



SH-60の前で集合写真

厚木航空基地SH-60体験搭乗！ ～海上自衛隊の航空機の魅力を満喫～

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子 1 陸佐）は 8 月 30 日（土）、海上自衛隊厚木航空基地において募集対象者等 15 名に対し SH-60 の体験搭乗を行った。当日は、天候にも恵まれ絶好の体験搭乗日和になり、海上自衛隊厚木航空基地へ到着すると、さっそく基地の概要説明及び搭乗前の安全教育を受けた。その後、参加者は緊張の面持ちで、ドッグタグやクラニアル（頭部を防護する物）を受け取り、エプロンへと前進した。SH-60 に搭乗すると、晴天で見通しの良い機内からの風景に目を輝かせて上空から横浜市内やベイブリッジを見下ろしたことが印象に残ったようだ。参加した高校生は「緊張しましたが、貴重な体験が出来ました」と興奮気味に笑顔で話してくれたるなど、SH-60 による体験搭乗を楽しんでいる様子だった。厚木航空基地内にある米海軍のフードコートにおいて、英語記載のメニューに戸惑いながらも注文し、「思ったより量が多い」「大きい」と笑顔で話し、食事とともに海外気分を味わっていた。

こうして SH-60 体験搭乗及び基地見学により、海上自衛隊の航空基地の魅力を満喫した一日となった。
栃木地本は「今後も、各種イベントを通じ募集対象者等に積極的に働きかけ、自衛隊への理解の推進及び募集活動に推進していく」としている。